


農業情報（令和7年11月）

内 容	写真等	とき・ところ 主体・対象（構成員数）
<p>施設促成ナスで遮光・遮熱を行い着果率が向上！</p> <p>東海茄子研究会では、今年から暑熱対策として遮光・遮熱を行う生産者が0戸から4戸へ増加しました。農業改良普及課が、定植後の着果率を調査したところ、遮光・遮熱を行ったほ場は95%、遮光・遮熱対策を行わなかったほ場では75%と、遮光・遮熱を行うことで着果率が向上することを確認することができました。</p> <p>研究会では、毎月ほ場の巡回を行っており、生産者間で盛んに意見交換が行われています。生産者からは、遮光・遮熱資材の中でも複数年使用ができる遮光ネットが特に評価されていました。</p> <p>農業改良普及課は、引き続き高温による被害軽減に向けて技術改善の支援を行っていきます。</p>	 <p>遮光ネットを設置した ナスハウスのサーモグラフィ</p>	<p>令和7年11月13日 東海市</p> <p>J A あいち知多 東海茄子研究会 (7名)</p>